

書名	萬葉一葉 上			著者名	今泉 忠芳／著		
出版社	文芸社	ISBN	978-4-286-17528-7	本体価格	¥1,700	発売	2017/2/1
内容	歌のひとつひとつを様々な角度から検証し、古代日本人の暮らしと精神性を浮かび上がらせた、充実の萬葉集研究書。萬葉歌の解説にとどまらず、多くの史料から、古代最大の歌人・柿本人麻呂の最期を想定し、「田兒之浦」「嗚呼見乃浦」などの土地比定のため、その歌が歌われたであろう土地に実際に足を運び検証。万葉人の暮らしを鮮やかに浮かび上がらせた、上下巻の上巻。						

書名	萬葉一葉 下			著者名	今泉 忠芳／著		
出版社	文芸社	ISBN	978-4-286-17529-4	本体価格	¥1,800	発売	2017/2/1
内容	歌のひとつひとつを様々な角度から検証し、古代日本人の暮らしと精神性を浮かび上がらせた、充実の萬葉集研究書。萬葉歌の解説にとどまらず、多くの史料から、古代最大の歌人・柿本人麻呂の最期を想定し、「田兒之浦」「嗚呼見乃浦」などの土地比定のため、その歌が歌われたであろう土地に実際に足を運び検証。万葉人の暮らしを鮮やかに浮かび上がらせた、上下巻の下巻。						

書名	ビジュアル版鑑賞ガイド くらべてよくわかる 仏像の見方			著者名	熊田 由美子／著		
出版社	朝日新聞出版	ISBN	978-4-02-333048-1	本体価格	¥1,600	発売	2017/2/20
内容	如来(釈迦如来、阿弥陀如来、大日如来など)・菩薩(弥勒菩薩、千手観音菩薩、十一面観音菩薩など)・明王(不動明王、愛染明王など)・天(金剛力士、四天王、十二神将)の仏像別に、異なる時代の2体をくらべることで、それぞれの特徴や、僧侶や仏師たちが仏像にこめた思いや意味の違いなどをひもといていく仏像案内書です。						

書名	神話から現代まで 一気にたどる日本思想			著者名	稲田 義行／著		
出版社	日本実業出版社	ISBN	978-4-534-05479-1	本体価格	¥2,000	発売	2017/2/23
内容	古来、日本人はどんなことを考えてきたのか？。外来の思想や哲学をうまく取り入れながら、独自の発展を遂げてきた日本思想。その変遷や各時代を代表する日本人思想家たちの思想を紹介しつつ、古代から現代にいたる歴史の流れを一気に俯瞰する。これ一冊で、日本人がたどった思想の軌跡がわかる！						

書名	前方後円墳国家			著者名	広瀬 和雄／著		
出版社	中央公論新社	ISBN	978-4-12-206369-3	本体価格	¥960	発売	2017/2/21
内容	3世紀半ばから7世紀初めまでの約350年間にわたって、日本列島各地で前方後円墳が造営され続けた。その数はおよそ5, 200基。前方後円墳の特質は、可視性、画一性、階層性の3点にある。いいかえれば前方後円墳は〈画一性と階層性を見せる墳墓〉であった。大山(仁徳陵)古墳を頂点とする巨大古墳が列島各地で、共通する墳形と歴然たる規模の階層性をもって造られたのはなぜか。それらは大和政権を中心とする各地の首長層の利益共同体のメンバーシップを表象するものだった。この時代の歴史を「国家」という視点から捉え直し、新しい歴史像を提示する。						

書名	歴代天皇大全			著者名	不二 龍彦／著		
出版社	学研プラス	ISBN	978-4-05-406531-4	本体価格	¥580	発売	2017/2/1
内容	初代神武天皇から、第125代今上天皇までの全天皇の事跡を、各時代背景を軸に物語とエピソードでつづった天皇伝記集。また、北朝の天皇の事跡について、さらに全天皇の画像も併載する。新たに、現代の皇室と皇室典範について解説する章を追加。						

書名	蘇我氏と飛鳥【人をおるく】			著者名	遠山 美都男／著		
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-06795-9	本体価格	¥2,000	発売	2017/2/21
内容	6～7世紀半ば、大臣(おおまえつきみ)として天皇の権力をささえた、稲目(いなめ)・馬子(うまこ)・蝦夷(えみし)・入(いる)鹿(か)ら蘇我氏四代。狭小な飛鳥の地をいかに切り拓き、隋唐に対抗できる都市的空間を築いたか。従来の蘇我氏像を書きかえ、王権の聖地の姿に迫る。						

書名	古代飛鳥の都市構造			著者名	相原 嘉之／著		
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-04635-0	本体価格	¥11,000	発売	2017/2/25
内容	大宝元年(701)正月、律令制度が完成して誕生した「日本国」。時の為政者である「天皇」はどのような政治判断をし、いかなる理念のもとに国家形成を行っていたのか。最新の考古学成果をもとに飛鳥、近江、藤原京の成立過程を追究。7世紀の王宮の変遷や構造、官衙の成立、飛鳥地域の都市構造を解き明かし、律令国家の形成過程を展望する。						